

あなたの声を町政に！ 参加 延べ37人

テーマ

- 11月4日（木） 防災、まちづくり
- 11月5日（金） 道路、災害
- 11月6日（土） 教育、安心安全（防犯）
- 11月7日（日） 子育て支援、移住定住

参加者の声

- 「私の意見を聞いていただき、ありがとう。」
- 「参加者がもう少し多いといいのですが。」
- 「他の人の声が聞けて良かった。また参加したい。」
- 「参加することで勉強になりました。」



町議会と語ろう会のように

道路、災害、子育て支援、移住定住

問 基山町から小郡市に抜ける伊勢山線の大型車通行量が多く道路の振動が発生している。ランプ等、スピードが出せない交通規制は出来ないか。細かい道路維持補修についても早急に対応してほしい。

議会 道路振動については既に予算を組んでいる。実施時期を確認する。速度規制は県公安委員会との協議となるが、地元の利便性への影響や、振動の再発につながる恐れがあることから、慎重に協議する必要がある。また、地元と相談したい。



住宅近くを通る大型車両

問 基山町は移住定住に力を入れているが中心市街地と中山間地の定住は違う。どのように分けて考えているのか。Uターン施策（リフォーム代補助等）にも力を入れてほしい。

議会 若者世帯の新居購入や転入費用の補助金制度による成果は上がっている。郊外移住希望者には提供家屋が不足している。棚田法の指定を受け定住と中山間地活性化につながることを期待したい。

問 公共工事計画室が設置された。計画策定の進捗状況はどうなっているか。まちづくり提案書が各区から提出されているが早急に対応してほしい。

議会 議会も進捗状況を報告するよう要望しているが、明確な回答は受けていない。現在、各区から提出されている、まちづくり提案も含め確認する。

問 近年、孤独死が増えている。対策強化を望む。

議会 福祉課に「プラチナ社会政策室」を設置し、一人暮らしの高齢者や将来その可能性のある世帯も含め調査と見守り体制づくりを強化している。

第9回 町議会と語ろう会を開催

防災、まちづくり、教育、安心安全

問 アダプトプログラムとは何を目的にしているのか。町内幹線道路にゴミを捨てるのは町外者が多いが、行政は何も手を打っていない。このままでは協働のまちづくりは衰退する。議員には現状の課題と解決策を議会の仕事として取り組んでほしい。

議会 町民の善意の上で成り立っているのがアダプトプログラムだが、町としても善意に頼らざるを得ない。現在のままでは誰もする人がいなくなるので、基山町の環境美化については今回のご意見をしっかり受け止める。

問 通学路の安全対策だが「歩行者に注意」の看板や「止まれ」等の表示が消えている。整備するよう要望しているが整備されていない。途中経過を報告するとともに危険箇所は事前に点検すべきだ。

議会 議会としても通学路の安心安全を確保するために交通安全対策を最優先とするよう町に伝える。危険箇所の見回りについては調査内容、方法について議会で調査する。

意見・要望

- ・小中学生のタブレット保険を保護者負担でよいので全員加入を進めてほしい。(低所得者は補助)
- ・基山町では待機児童はいないと言っているが受け入れ先が限定され潜在的な待機はある。
- ・若者世帯の移住補助金を建設業者だけでなく一部を地元商店街で使えるようにしてほしい。
- ・グリーンパークから小松地区間の秋光川は長年整備されていないため、川幅が狭くなっている場所や大きな石があり大雨時が不安だ。
- ・豪雨時の被災農業施設への補助制度見直し。
- ・コミュニティバスの経路で12区内の狭い道を路線に指定しているのはなぜか。
- ・秋口は道路沿いの落葉樹の処理は住民任せになっている。町が予算化して処理してほしい。

問 災害発生想定避難訓練を町はやってほしい。

議会 町全体では実施していないが区単位で実施しているところがある。自主防災組織も増えている。

問 不登校児童の現状はどうなっているのか。

議会 保健センター2階に教育支援センターを開設し、教育経験者を採用して、学校にいけない児童生徒に対応している。

問 基山町消防団には新団員の確保など課題が多いが各部で抱えている課題は違う。特に現団員への負荷が大きくなっている。消防団幹部との意見交換だけでなく、若い世代の声を聴いてほしい。

議会 機能的な問題は町議会では議論できないが具体的な問題は基山町の中で議論し問題解決に繋げたい。令和3年3月までに総務文教常任委員会の所管事務調査で若い団員の声を聴きたい。



消防団の課題も多い

参加していただいた皆さまありがとうございました。